

講演会 1

災害と社会

特別展「天災地変人禍に抗してー北海道の災害と文学ー」に関連して、『地震と社会 「阪神大震災」記（上・下）』（みすず書房、1997、1998年）、『3・11 複合被災』（岩波書店、2012年）などの著書があり、作家として、ジャーナリストとして活躍されている、外岡秀俊氏にお話をうかがいます。

講師：

外岡秀俊

(ジャーナリスト、作家)

2021年

7月22日(木・祝)

*コロナによる休館の延長で、当初とは日程が変わっております。

午後2時～ 約1時間

当館地階講堂 および オンライン
聴講無料

*申込：A、Bのいずれかからお選びください。

A 当館講堂で対面による受講

電話受付中 先着順・定員 25名 011-511-7655

B オンラインで受講（講演の動画を後日配信）

ホームページから申込受付中

<http://www.h-bungaku.or.jp/>

7月22日(木)17:00まで受付

*Bは、インターネット環境が必要です。

こちらのQRコードからも

アクセスいただけます。



外岡秀俊(そとおかひでとし)

1953年、札幌市に生まれる。76年、東大在学中に書いた『北帰行』で、第13回文藝賞を受賞し、デビュー。77年、朝日新聞社入社と同時に小説活動を休止していたが、退職後、2014年に、中原清一郎名義で小説『カノン』を発表。現在、中原清一郎名義で小説家として、また引き続き外岡秀俊名義でジャーナリストとして活躍する。



中原名義の他の小説に『未だ王化に染はず』がある。また外岡名義の著書に『傍観者からの手紙』『3.11 複合被災』などのほか、訳書にジョン・W・ダワー著『忘却のしかた、記憶のしかたー日本・アメリカ・戦争』がある。

*『北帰行』(新装版、河出書房新社、2014年)の作家紹介より抜粋

展覧会のご案内

特別展「天災地変人禍に抗してー北海道の災害と文学ー」 2021年7月13日(火)～8月22日(日)

※月曜休館。8月9日(月・振休)は開館、8月10日(火)は休館 開館9:30～17:00 *入場は16:30まで

観覧料：一般500(400)円 高大生250(200)円 中学生以下・65歳以上無料

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会期や日程を変更することがあります。その際はホームページ等でお知らせいたします。

中島公園 北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園 1-4

Tel 011-511-7655 <http://www.h-bungaku.or.jp/>

- 地下鉄南北線中島公園駅(出口③)または幌平橋駅(出口①)下車徒歩6分
- 市電「中島公園通」停留所下車徒歩10分
- JRバス・中央バス「中島公園入り口」より徒歩4分